



# テクニカルデータシート

テクニカルデータシート (TDS) については、メールでお問い合わせください  
[info@yanmaroil.com](mailto:info@yanmaroil.com)

| 項目  | 単位  | 値   | 備考  |
|-----|-----|-----|-----|
| ... | ... | ... | ... |
| ... | ... | ... | ... |
| ... | ... | ... | ... |
| ... | ... | ... | ... |
| ... | ... | ... | ... |
| ... | ... | ... | ... |
| ... | ... | ... | ... |
| ... | ... | ... | ... |
| ... | ... | ... | ... |

Copyright © 2014 Yanmar Oil & Chemical Co., Ltd. All rights reserved.



# 安全データシート

## OSOI UNIVERSAL

### 50-57

#### セクション1.物質/準備および会社の識別/理解

##### 1.1. 物質/調剤の特定

製品 :OSOI ユニバーサル50-57 (SAE 50 TBN 57)  
化学名 :石油蒸留物 (混合物)  
CHEM FAMILY :石油炭化水素  
健康被害 :危険性のない物質、危険性のない商品。

##### 1.2. 応用

エンジンオイルに使用されます。

特定のアプリケーションに関するアドバイスについては、適切なテクニカルデータシートを参照してください。

#### セクション2.成分に関する組成/情報

##### 2.1. 化学組成

高度に精製された基油

構成

CAS 番号パーセント

留出物、石油、溶剤精製重質パラフィン64741-88-4

85

#### セクション3.危険の特定

この材料は、OSHA ハザードコミュニケーション基準では危険とは見なされていませんが、適切な産業衛生および安全慣行に従って取り扱う必要があります。

#### セクション4.応急措置

##### 4.1. 目まぶ

目が開いたままになっていることを確認しながら、大量の水で目を完全に洗います。次の場合は医師の診察を受けてください  
痛みや発赤が発生または持続します。

##### 4.2. 肌

・適度に実行可能な限り早く、石鹸と水で皮膚を完全に洗ってください。ひどく汚染されたものを取り除く衣類と下にある皮膚を洗ってください。

#### 4.3. 飲み込んだ

場合・口の中が汚れた場合は、水でよく洗い流してください。・意図的な行為を除いて、大量の製品を摂取する可能性はほとんどありません。万が一発生した場合は、嘔吐を誘発しないでください。医師の診察を受けてください。

#### 4.4. 吸入

・ミスト、ヒューム、または蒸気を吸入すると、鼻や喉に刺激を与えたり、咳をしたりする場合は、新鮮な空気のある場所に移してください。もしも症状が続く場合は、医師の診察を受けてください。

#### 4.5. 医師の忠告

・治療は一般的に症候性であり、影響を和らげることを目的とすべきです。

### セクション5. 消火措置

・泡、乾燥粉末、または水霧を使用します。ウォータージェットは使用しないでください。・限られたスペースでの火災は、承認された呼吸装置を身に付けた訓練を受けた当事者が対処する必要があります。・水は、近くの熱にさらされる領域/オブジェクト/パッケージを冷却するために使用される場合があります。直接スプレーすることは避けてください。・腐食の危険性があるため、貯蔵容器。

#### 5.1. 燃焼製品

・有毒ガスは、燃焼または熱にさらされると発生する可能性があります。・この安全データシートのセクション10の安定性と反応性を参照してください。

### セクション6. 偶発的なリリース措置

・砂またはその他の適切な不活性吸収材を使用して、こぼれた物質を封じ込めて回収します。・適切な吸収材の在庫は、合理的に予想される可能性のある流出に対処するのに十分な量で保持する必要があることをお勧めします。・こぼれた材料は、表面を滑りやすくする可能性があります。・汚染を最小限に抑えるために、潜在的な流出から排水路を保護します。製品を排水システムに洗い流さないでください。・大規模な流出の場合は、適切な当局に連絡してください。・水にこぼれた場合は、適切なバリア装置を使用して製品の拡散を防ぎます。

表面から製品を回収します。環境に敏感な地域と水の供給を保護します。

### セクション7. 取り扱いと保管

#### 7.1. 取り扱い上の注意

・目との接触を避けてください。水しぶきが発生する可能性がある場合は、必要に応じてフルフェイスバイザーまたは化学ゴーグルを着用してください。・新鮮な製品または使用済みの製品との頻繁または長時間の皮膚接触を避けてください。・優れた作業慣行、高水準の個人衛生および植物の清潔さを維持する必要があります。・回数。

・接触後は手をよく洗ってください。・使い捨ての布を使用し、汚れたら廃棄します。汚れた布をポケットに入れしないでください。

#### 7.2. 防火

・こぼれたものを吸収するために使用される製品で汚染されたぼろきれ、紙、または材料は、火災の危険を示し、蓄積させてはなりません。使用後はすぐに安全に廃棄してください。

#### 7.3. 保管条件

・熱や発火源から離してカバーの下に保管してください。

### 8.1. 露出制限

- この資料には、適切な職業上の曝露制限はありません。•十分な換気を確保してください。•合理的に実行可能な限り、使用中に発生する蒸気、ミスト、またはヒュームの吸入を避けてください。•蒸気、ミスト、または煙が発生する場合は、職場の空気中のそれらの濃度を最小限に抑える必要があります  
合理的に実行可能なレベル。

### 8.2. 防護服

- アイコンタクトが誤って発生する可能性がある状況では、フェイスバイザーまたはゴーグルを着用してください。•皮膚に接触する可能性がある場合は、不透性の防護服や手袋を着用してください。•防護服は定期的にドライクリーニングする必要があります。ひどく汚染された服を着替えたらすぐに合理的に実行可能;再利用する前に、ドライクリーニング、洗濯、できればでんぶんを使用してください。汚染された下層の皮膚を石鹼と水で洗います。

### 8.3. 呼吸保護

- 蒸気、ミスト、または煙の濃度が適切であれば、呼吸保護は不要です。  
制御されます。
- 呼吸装置の使用は、製造元の指示およびその選択と使用を管理する法定要件。

## セクション9.物理的および化学的性質

| 物理的状态      | 液体                  |
|------------|---------------------|
| 色          | 黄色から琥珀色             |
| におい        | 石油                  |
| pH         | 利用不可                |
| 比重@15°C    | <1                  |
| 引火点 (COC)  | >200°C              |
| 溶解性        | 水に溶けない、<br>多くの溶媒に可溶 |
| 凝固点        | 適用できない              |
| 融点         | 適用できない              |
| 自動発火<br>温度 | 利用不可                |

## セクション10.安定性と反応性

- このタイプの製品は安定しており、通常の使用条件下で危険な方法で反応する可能性はほとんどありません。•危険な重合反応は発生しません。•この材料は可燃性です。

### 10.1. 避けるべき材料

- 強力な酸化剤との接触を避けてください。



## 10.2. 危険有害な分解生成物

熱分解生成物は条件によって異なります。

不完全燃焼は、煙、二酸化炭素、および一酸化炭素、硫化水素、硫黄とリンの酸化物を含む危険なガスを生成します。

## セクション11. 毒物学的情報

---

### 11.1. 目

・偶発的なアイコンタクトが発生した場合、一時的な刺痛や発赤以上の原因となる可能性はほとんどありません。

### 11.2. 肌

・短時間または時折の接触で皮膚に害を及ぼす可能性は低いですが、長時間または繰り返し暴露すると、皮膚炎に。

### 11.3. 摂取

・誤って少量を飲み込んだ場合に害を及ぼす可能性は低いですが、大量に摂取すると吐き気や下痢。

### 11.4. 吸入

・通常の周囲温度では、この製品は低いため、吸入の危険性を示す可能性はほとんどありません。

ボラティリティ。

・蒸気、ミスト、または煙にさらされると、目、鼻、喉に刺激を与える可能性があります。・熱分解生成物に起因する蒸気、ミスト、または煙にさらされると、吸入すると有害である可能性があります

発生します。

## セクション12. 生態学的情報

---

### 12.1. 可動性

・こぼれたものが土壌に浸透し、地下水汚染を引き起こす可能性があります。

### 12.2. 持続性と分解性

・この製品は本質的に生分解性です。

### 12.3. 生体内蓄積の可能性

・生体内蓄積が起こることを示唆する証拠はありません。

### 12.4. 水生毒性

・こぼれたものは水面に膜を形成し、生物に物理的損傷を与える可能性があります。酸素移動も可能性があります  
障害者。

## セクション13. 廃棄に関する考慮事項

---

・可能であれば、製品のリサイクルを手配します。・地域の規制に従って、許可された人/認可された廃棄物処理業者を介して処分してください。・地域の排出規制が満たされている場合、焼却は管理された条件下で実施できます。

## セクション14. 輸送情報

---

・輸送の危険性として分類されていません（ADR、RID、UN、IMO、IATA/ICAO）。

・供給に対して危険として分類されていません。

---

・このデータシートとそれに含まれる健康、安全、および環境に関する情報は正確であると見なされます。

社外の情報源から受け取った、ここに含まれる情報を確認しました。

ただし、このデータシートに含まれるデータおよび情報の正確性または完全性に関して、明示または黙示を問わず、いかなる保証または表明も行われません。

・このデータシートに記載されている健康と安全に関する注意事項および環境に関するアドバイスは、すべての人にとって正確であるとは限りません。

個人および/または状況。この製品を安全に評価および使用し、適用されるすべての法律および規制を遵守することは、ユーザーの義務です。このデータシートに記載されている記述は、有効なライセンスなしで特許発明を実施するために与えられた、または暗示されている許可、推奨、または許可として解釈されないものとします。会社は、材料の異常な使用、推奨事項の順守の失敗、または材料の性質に内在する危険に起因するいかなる損害または傷害についても責任を負わないものとします。